グルーチョ・マルクス

Groucho Marx

生年月日 1890/10/02
出身地 アメリカ／ニューヨーク市
没年 1977/08/19
関連人物 ゼッポ・マルクス（弟（五男））
チコ・マルクス（兄（長男））
ハーポ・マルクス（兄（次男））

【バイオグラフィ】

△ユダヤ系ドイツ移民の子孫。主に1930年代を中心にアナーキーで不条理な笑いを武器に活躍したコメディ・ユニット“マルクス兄弟”の三男。インクで描いた大きな口髭と葉巻、そして腰を落とした独特の歩き方がトレードマーク。兄弟の中でも歌としゃべくりに長け、主に言葉によるお笑いの側面を担当。息をもつかせぬマシンガントークで相手を煙に巻く独特の話術で笑いを生み出す。貧しさのため、幼い頃より一家でヴォードヴィル劇団を結成して巡業を行う。やがて、舞台で成功を収めたのを機に、兄チコとハーポ、弟ゼッポ（四男のガモは映画に出演せず）とともに映画の世界へ。29年、舞台で評判だった「ココナッツ」の映画化でパラマウントよりスクリーンデビューを果たす。パラマウントとは５本の契約を結び「御冗談でショ」「我輩はカモである」というナンセンス・コメディの傑作を生み出す。しかし、興行的には失敗に終わり、「我輩はカモである」を最後にパラマウントから契約終了を言い渡されてしまう。その後、名プロデューサー、アーヴィング・サルバーグが彼らに声を掛けＭＧＭへと移籍する。この時、ゼッポが脱退、以降“マルクス兄弟”はチコ、ハーポ、グルーチョの３人での活動が始まる。ＭＧＭ移籍第１弾の「マルクス兄弟オペラは踊る」はいきなり大ヒット、批評家からも絶賛される。その後も、「マルクス一番乗り」「マルクスの二挺拳銃」など喜劇の傑作・快作を生み出した。マルクス兄弟の笑いは、同時代よりも後の喜劇人、映画人に計り知れない影響を与えた。61年のチコ、64年のハーポに続いて77年8月19日にこの世を去った。

【フィルモグラフィ】

MARILYN'S MAN　マリリンズ・マン　～マリリン・モンローの真実～（2004）	出演
ダブル・ダイナマイト（1952）	出演
マルクスの競馬騒動（1950）	出演
ラヴ・ハッピー（1949）	出演
悩まし女王（1947）	出演
マルクス捕物帖（1946）	出演 :コーンブロウ
マルクス兄弟デパート騒動（1941）	出演
マルクスの二挺拳銃（1940）	出演
マルクス兄弟珍サーカス（1939）	出演
ルーム・サービス（1938）	出演
マルクス一番乗り（1937）	出演
マルクス兄弟オペラは踊る（1935）	出演
我輩はカモである（1933）	出演
御冗談でショ（1932）	出演
いんちき商売（1931）	出演
けだもの組合（1930）	出演
ココナッツ（1929）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.